

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「わちあい」・「ありがとう」へ



基本情報 2023年度の累計 (2022年度寄贈365ト提供368ト)

寄贈 226.9ト前年同期比97.5% 提供 222.2ト前年同期比91.8%

11月

寄贈食品計 36.8ト

企業・生協等	23.8ト
フードドライブ	9.5ト
寄付金購入	3.5ト

紙幅に限りがあり、
敬称略で報告します。

提供食品計 394回 28.3ト

行政・社協	68回	4.5ト
地域フードバンク	104回	11.2ト
こども食堂等	176回	10.4ト
施設・福祉・外国関連	46回	2.2ト

寄 贈 (入庫)

入庫重量36.8トは前年比173%、
パルシステム神奈川のおもいやり
セット (冷凍) 4,200セットが入庫。
飲料、アイスバー等の大量寄付。

提 供 (出庫)

出庫重量28.3トは前年比103%。
米は不足状態が続いており、こ
れまでに20ト以上の寄付金購入
も行い対応している。

〇事業者寄贈

マルハニチロ (冷凍総菜・魚)、山
崎製パン (パン)、コカ・コーラ
(飲料)、麒麟 (飲料)、相鉄
ホールディングス (米) 相鉄ローゼ
ン (米)、ミツハシ (米)、開成町
教育委員会 (米他)、コケナワ (ア
イスバー)、伊藤園 (飲料)、日生
協、ユーコープ、パルシステム神奈
川、フードバンクTAMA

〇防災備蓄品

東京海上日動火災保険、東芝横浜事
務所、エルゴテック、小田原ガス、
横浜市、鶴見大学

〇フードドライブ

イトーヨーカドー (31店舗)、無印良
品 (39店舗)、そうてつローゼン (17店
舗)、イオン、高島屋横浜店、伊勢丹、
横須賀モアーズシティ、スズキ自販
湘南、横浜ベイシェラトンホテル、
ドコモCS、平塚信用金庫、大塚商
会、日本赤十字神奈川、日下小学校、
上行寺、神奈川県庁、三浦市、寒川
町、栄区役所、JAM神奈川、東電労
組、住友重機労組、横浜労協ヨコ
ハマwaiwaiフェスタ、農協大会、生
活クラブ復興まつり、ナチュラル
コープヨコハマ、福祉クラブ、こく
みん共済COOP、労金県本部、JAさ
がみ、JA横浜磯子、ユーコープ、パ
ルシステム神奈川、生活クラブ他

〇行政・社協・委託 32団体

横浜市・区社協、横浜ひとり親支援
(横浜市母子寡婦福祉会)、川崎市、
相模原市、横須賀市、鎌倉市、小
田原市、茅ヶ崎市、厚木市、秦野
市、葉山町、川崎市社協、藤沢市
社協、綾瀬市社協、二宮町社協

〇地域のフードバンク 50団体

お福わけの会、カナンキリスト教
会、たすけあい、川崎医療生協、
くろーばーマーケット、さくらの
森・親子サポートネット、さろん
どて、セカンドリーグ神奈川、報
徳食品支援センター、多摩区応援
プロジェクト、サニースマイル、
FB浜っ子南、FBふじさわ他

〇こども食堂居場所等 106団体

COCOLOの会、SISA、アフリカ
ヘリテージコミュニティ、こども食
堂ハッピー、金沢こども食堂すく
すく、宮ノマエストロ、キッズカ
フェ杉田、にのみや子ども食堂便、
こどもすまいる食堂、しあわせ配
達便、となりのレストラン、ハレ
ルヤこども食堂、ドリームセン
ターこどもカフェ、横浜市立大学、
フリースペースたまりば、よこす
かなかながや、ひまわり、他

〇福祉・病院・外国関係 28団体

国際交流支援BP、SSネット、カ
ラー、こども家庭支援センターゆ
いの木、児童家庭支援センターか
わわ、街カフェ大倉山ミエル、横
浜市福祉事業経営者会、他

合意書締結団体

寄贈締結団体	285団体
提供締結団体	358団体
行政・社協	63団体
市民団体	295団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	
フードドライブ回収拠点	349か所

賛助会員寄付状況

団体会員	224団体	725口
		725万円
個人会員	316人	1849口
		1,849,000円
寄付		
2023年度	8,139,629円	
累計	85,954,205円	

【新理事メッセージ】

はたらく仲間を応援する現場から
フードバンクの活動を応援します

中央労働金庫神奈川県本部
都県営業担当部長
野上 憲王さん



中央労働金庫神奈川県本部の野上憲王 (ノガミケンオウ庫の愛称は〈ろうきん〉。店舗には〈ろうきん〉) でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

労働金ブルーの「青い看板」が目印になっています。

〈ろうきん〉は第2次世界大戦後の混乱期、はたらく仲間の生活向上のために、労働組合や生活協同組合が出資母体となって全国各地に設立されました。

はたらく仲間からお預かりした預金を、はたらく仲間の生活資金 (車・教育等) や住宅資金に融資する。

〈ろうきん〉は金融事業を通じて、はたらく仲間とその家族の生活を応援し、資産形成を支援する。〈ろうきん〉は誕生から一貫して変わらない姿勢で、はたらく仲間を応援し続けていきます。

〈ろうきん〉では、各営業店の推進幹事会主催イベントや、地域の労福協活動のなかでフードドライブを展開しています。今後も

フードバンクの活動を応援
していきたいと思います！

中央ろうきん横須賀支店70周年
フードドライブ品お届けの写真→



食品を利用された方々からの「ありがとうの声」をご紹介します

♥生活保護を申請するまでの間、手元に
食料がなく不安だったため助かりました㊤

♥再就職が決まるまでの期間、手持ち金が
不足していたため一時的に食料支援をして
いただき、食事がとれるようになりました。

♥こんなにたくさんの食品を頂けて助
かります。今月も何とか暮らしてい
けそうです㊤

♥食品が値上がりしている中、生活が苦しくフ
ードバンクの援助には本当に助かっています。
お米は本当に助かります。



♥おかしをいれてくれてありがとうございます。おねえ
ちゃんといっしょにたべました。おいしかったです㊤

♥果実のジュース等、子どもが好きでもなかなか
購入できないが、子どもがおいしいととても喜んで
いてありがたいです。

♥主食のお米と麺類がとても助かります。
様々なものが値上がりしているので利用
させて頂き感謝しています。

11月のフードバンク



11月はフードバンクかながわ構成団体関連のイベントが各地で開催され、フードドライブブースで参加しました。おぜいのみなさまが集まるイベントはフードバンクやフードドライブ活動をアピールするとてもありがたい機会です。重いお米をもってくださる方、袋一杯の食品を持ってくださる方、大切な菓子をおすそ分けしてくれたお子さん、フードバンクの活動について熱心にご質問くださる方など、おぜいの方々とのお会いがありました。2023年もあつたずかとなりました。今年もご支援ご協力ありがとうございました。12月15日(金)から2023年度食品ロス削減コースターデザインコンテストの募集が始まります。ホームページに募集要項を掲載しましたので、ぜひ皆様のご応募をお待ちしています。



フードバンクかながわ
ホームページ



キリンビバレッジ様飲料5.0ト



コケナワ様アイスバー2.6ト



横須賀モアーズシティ様
フードドライブ



横浜ベイシェラトンホテル様



JAM神奈川様よりご寄付

パルシステム神奈川様
冷凍品「おもしろセット」
組合員の皆様から4200セット
のご支援をいただきました



三浦市役所様フードドライブ



旭化成労組様フードドライブ



エルゴテック様防災備蓄品



WEショップさかえ様
フードドライブ



こくみん共済COOP神奈川様
フードドライブ



中央ろうきん友の会様
フードドライブ



東電労組様フードドライブ



そごう横浜店様
フードドライブ



11/29 神奈川県
農協大会
フードドライブ



11/11 ヨコハマwai! Wai! フェスタにて
フードドライブ開催



11/18 生活クラブ復興まつりにて
フードドライブ開催

地域交流
イベント



体験研修



茅ヶ崎市の皆様



横浜北生活クラブ
まちづくり委員会の皆様



横浜北生活クラブ
つるみ commons の皆様



JAMかながわの皆様
フードドライブ品寄贈と体験研修



横浜市立日下小学校PTA様
イベントでフードドライブ

2023年度第3回政策研究会報告

フードバンク山梨の活動から見える子どもの貧困 フードバンク活動とファンドレイジング

認定NPO法人フードバンク山梨
理事長 米山 けい子さん



2023年10月に設立15周年を迎えたフードバンク山梨。この間には国の補助金打ち切りや活動拠点である倉庫を失うなど存続の危機に見舞われた。その度にピンチをチャンスと捉え支援の輪を拡大。2013年度350万円ほどだった会費・寄付金総額は2022年度には1億円を超え(センター建設寄付含む)、実に22倍の寄付実績となった。子どもたちの食を支え続けるために多くの賛同を得てすすめるフードバンクの活動とそれを持続的に支えるファンドレイジングについて、フードバンク山梨理事長の米山けい子氏は以下のように提起された。

ファンドレイジングを成功させるための取り組みとして、①年間計画に位置付けたプロジェクト等活動、②取り組んだ活動の広報、③多様なステークホルダーへの呼びかけや目的に沿った寄付活動、これらをつなげて進めること。年間の活動では「フードバンク子ども支援プロジェクト」、「乳幼児応援プロジェクト」など目的と具体的な支援策を明確に示すことで市民参加を広げている。重点活動には広報力がキーとなる。保育園や小中学校へのアンケートでくらしの実態を可視化することにより、ニュース性のある切り口でメディアにアプローチする。山梨フードバンクセンター設立のためのファンドレイジングでは目標額の3500万円の寄付金を獲得、新たな活動を展開することで共感・参加を引き出し、支援の輪を広げる活動に学んだ



多くの方からの寄付で建設された山梨フードバンクセンター

引き続きお米のご寄付をお願いいたします

*米一合から何トンでもお受けします。
*お金のご寄付やお米券もお受けしています。